

養豚経営における子実とうもろこし利用の取組

(茨城県：株式会社 塚原ファーム)

取組項目

| 飼養管理 | 良質堆肥の生産 | 堆肥の広域流通 | 国産飼料生産・利用 | 有機畜産 | その他(※) |
|------|---------|---------|-----------|------|--------|
| | | | ○ | | |

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地：茨城県猿島郡境町
- 代表者：代表取締役社長 塚原 昇
- 飼養頭数：総頭数800頭（母豚50頭、肥育豚750頭）
- 飼料作物作付面積：子実トウモロコシ55a
- HP等：<https://www.meishanton-ec.com>



トウモロコシ子実

<取組について>

○ 概要

- 希少価値の高い中国原産の「梅山豚」を飼育し、グループ会社の(株)塚原牧場で精肉及び加工品を販売。飼料を国産の原料でまかなうことを目標に、平成9年からエコフィードの活用を開始。
- 飼料用米の利用は、平成22年より取り組んでおり、毎年30tを梅山豚に給与。
- 平成27年からは、耕種農家と連携し子実とうもろこしの栽培を開始。収穫作業を委託し、収穫されたとうもろこし子実は飼料用米や大豆かす、エコフィードと自家配合し給与。

○ 今後の展望

- 子実とうもろこしの給与割合の向上による「梅山豚」の更なる肉の高品質化、高付加価値化に挑んでいく。

コントラクター

子実とうもろこしの栽培委託(千葉県成田市)

- ・とうもろこし生産
- ・堆肥利用



(株)塚原ファーム

規模：母豚50頭
子実とうもろこしを自社飼料製造施設にて乾燥→粉碎→配合→給与

梅山豚 飼育

消費者



販売

(株)塚原牧場

